



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年6月30日

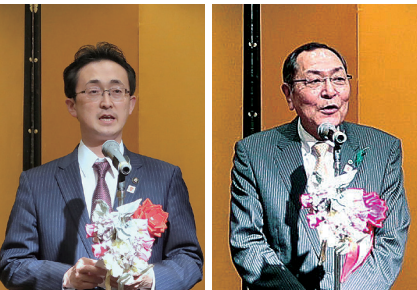


第52回通常総会

組合員跡地処理から団地内再整備へ 第52回通常総会

当組合の2019年度事業計画などを審議する第52回通常総会が5月28日(火)、ホテル青森で開かれ、組合員125名(本人出席59名、委任状出席66名)が出席した。総会の開催にあたり西理事長は「昨年度の組合は、最重要課題である組合員跡地問題に継続的に取り組んできた結果、跡地取得で4社が新規に加入したほか、既存組合員に

よる買い増しも4件実施されるなど、団地内再整備が一段と進められた。また、青森市の協力により、団地全域の街路灯のLED化や街路樹の一部伐採が行われ、より働きやすい環境を整えることができた。今年度は、厳しい雇用環境が続いていることから、組合員の人材確保への支援事業として、合同企業説明会の開催



懇親会で祝辞を述べる小野寺市長(左)、青山副知事(右)

総会では、西理事長が議長に選任され、2019年度事業計画や収支予算案等がすべて原案どおり承認された。総会終了後には懇親会が開催され、来賓を代表して、青森県青山副知事、青森市小野寺市長から祝辞が述べられ、青森商工会議所若井会頭の乾杯で祝宴に入った。2019年度の新たな取り組みは次のとおり。

①県内5卸団地が加盟する青森県流通団地連絡協議会を主体に新たに共同求人活動を

実施し、大学での合同企業説明会や大学生と企業との交流会等の開催により企業の認知度や採用力向上を支援
②団地内の各種インフラの現状を客観的に把握・整理するための調査事業を、全国卸商業団地協同組合連合会の卸商業団地機能向上支援基金事業

病気の早期発見につながる健康診断

組合では、6月11日(火)から13日(木)の3日間、今年度1回目となる集団健康診断を実施した。問屋町会館2階大会議室で行われた同健康診断は、組合員や近隣企業の従業員262名が受診した。健康診断会場には、今回も青森県口腔保健支援センターによる歯の無料健康相談コーナーを設置。加えて、体組成計、血管年齢計、ロコモ度判定立ち上がりボックスを設置した健康チェックコーナーも設けられ、利用者から好評を得た。

③組合員支援事業として、弁護士や社会保険労務士などの専門家による相談コーナーの新設
④景観づくりへの動機づけとして、問屋町オリジナルデザイン木製プランターを希望組合員へ無料配付



健康チェックコーナー



集団健康診断

今後の健康診断の日程は、6月25日(火)、7月9日(火)、8月7日(水)、10月8日(火)から11日(金)となっている。

一戸会長を再任

青森問屋町経営同友会

青森問屋町経営同友会の第40回定時総会が5月17日(金)にホテル青森で開催され、会員24名が出席した。

総会では提出議案がすべて議案どおり承認され、任期満了に伴う役員改選では、一戸会長が再任されたほか他の役員も全員重任。今年度創立40周年を迎える同会では、一戸会長のもと、記念事業をはじめ、より一層精力的に会運営を進めていくこととなった。

また、総会に先立ち、当組合の西理事長による「青森市のまちづくりについて」と題

第21回合同ゴルフコンペ

同友会・青友会

青森問屋町経営同友会(同友会)と問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の合同ゴルフコンペが6月8日(土)、青森スプリング・ゴルフクラブで開催された。

青友会の山田幹事の挨拶の後、両会会員とオブザーバーを含む25名が、7組に分かれ午前10時にスタート。少し肌寒さを感じる天候のなか、珍プレー好プレーに一喜一憂しながらラウンド。プレー終了後は同クラブレストランにて表彰式が行われ、互いのプレーを振り返りながら親睦を深めた。



同友会・青友会 合同ゴルフコンペ

コンペの結果は、(株)K・フロスピの小枝社長が初優勝を飾り、ベストグロス賞は(株)青森出版の山宮副部長が獲得した。なお、次回の合同ゴルフコンペは9月14日(土)青森カントリー倶楽部で開催予定。



同友会 第40回定時総会

した特別講演会を開催した。西理事長は青森商工会議所副会頭や青森市中心市街地活性化協議会会長など、青森市のまちづくりに関する要職を兼任。市の現状や取り組みなどを紹介した。

計画マスタープランでは、市街地の拡大を抑制し既存のストックを有効活用するためにコンパクトシティを理念として、インナー、ミッド、アウトターにゾーニングしている。現在はそこから一歩踏み出して、多極ネットワーク型コンパクトシティを目指す立地適正化計画に取り組んでいる。中心部では、青森駅、中三周辺、角弘周辺、ビーチなどで様々なハード整備が進行。観光コンテンツやおもてなし体制も、古川市場のつけ井、あおもり街てく、ワラッセ、エーファクトリー、レンタサイクルなど、徐々に整備されてきている。

クラフトコーナー盛況

問屋町交流ストア

問屋町交流ストアの「クラフトコーナー」が話題となっている。

昨年10月に地域の交流拠点として生まれ変わった問屋町交流ストア。リニューアルに合わせて、同ストア内に手作り雑貨を展示・販売するクラフトコーナーを新設した。開設から半年が経過し、噂が噂を呼び、手作り作家の作品で店枠は全て埋まり、枠が空いてもすぐに次の出店者が現れるなど、たくさんのクラフト作品で溢れている。



交流ストア内のクラフトコーナー



ハーバリウムなどの手作り作品が並ぶ

問屋町交流ストアの「クラフトコーナー」が話題となっている。昨年10月に地域の交流拠点として生まれ変わった問屋町交流ストア。リニューアルに合わせて、同ストア内に手作り雑貨を展示・販売するクラフトコーナーを新設した。開設から半年が経過し、噂が噂を呼び、手作り作家の作品で店枠は全て埋まり、枠が空いてもすぐに次の出店者が現れるなど、たくさんのクラフト作品で溢れている。

やイヤホンホルダーなど、ここでしか買えない一点もの手作り作品が数多く並ぶ。作り手の思いが込められたハンドメイド作品に会いに、ぜひ、問屋町交流ストアに足を運びください。



講師を務める西理事長

公民連携して既存ストックを再生・活用するイノベーションまちづくりへの挑戦や操車場跡地周辺地区(アリーナ)プロジェクトなども議論されており、地域経済の活性化や社会課題の解決を促していきたい」と語った。



第1回献血

今年度1回目となる献血が5月16日(木)に問屋町会館前で開催。午前11時45分から午後1時までの昼休憩時間に行われた献血では12名が献血に協力した。

お昼休みに献血協力

業務用食材専門卸

株式会社 小田川

本社 青森市第二問屋町三丁目8番36号
TEL (017) 739-5465 FAX (017) 739-9058

海産乾物問屋
昆布を食べよう

株式会社 丸毛最上商店

青森市問屋町二丁目14番22号
TEL 017-738-5891
FAX 017-738-5895
<http://www.mogami.biz>

問屋町たんしん

第27回問屋町納涼パーティー開催のお知らせ
7月26日(金)
午後7時~9時
(開場6時30分)

2場 所 ホテル青森
3階 孔雀の間
1人2,100円

3参加料 (税込)

※卸センター事務局にてチケットをご購入ください

4定 員 460名

5締 切 7月18日(木)

※定員に達し次第、締切とさせていただきます

お問い合わせは、卸センター業務部(☎738-4711)まで。

第47弾となる今回の経済雑感、青森地区労働基準協会の平井専務理事にご寄稿いただいた。

経済雑感

第九一八回

一般社団法人 青森地区労働基準協会 専務理事 平井 尚人

「防ごう労働災害!!」が元々健康診断!!」が元々企業の健康と安全をサポートします。

昭和22年労働基準法及び労働保険法が施行されると、まもなく各監督署内に、それぞれ労働基準普及会が設立され、目的としていち早く法の普及徹底と円滑なる実施を期するために労働基準監督署の外郭団体として労働基準協会が設立され活動を始めたところ。

業務報告

主要事項

- 5月
8日▽市高度化事業団体連絡協議会幹事会
▽問屋町経営同友会第1回役員会
9日▽第2回問屋町合同清掃▽県中央会理事會
13日▽あおもりコンピュータ・カレッジ運営委員会
14日▽問屋町支店長・所長連

- 絡会第1回幹事会
15日▽金融審査会
16日▽第1回献血
17日▽問屋町経営同友会第40回定時総会
20日▽市高度化事業団体連絡協議会総会
▽市納税貯蓄組合連合会功労者表彰式・通常総会
21日▽安協問屋町支部第1回役員会
▽市産業振興財団常務会
22日▽県社会保険協会定時総会
24日▽あおもりコンピュータ・カレッジ理事会
27日▽市勤労者互助会運営委

- 員会
28日▽第52回通常総会
29日▽市産業振興財団理事会
31日▽県中央会総会
16日▽仕事のストレスに悩まない7つの習慣
22日▽営業ツールの活用術(導入編)
25日▽Y.S.C.L.U.B.③
30日▽成果を生み出す会議術



(一社)青森地区労働基準協会 専務理事 平井 尚人 氏

「青森の労働行政 40年の歩みと展望から」
このように労働基準協会は、現在の青森労働局と密接な関係を築き労働関係法令の周知啓発活動を会員事業場に對して行っている機関であります。

さて、平成30年7月に「働き方改革関連法」が公布され、平成31年4月から順次施行されています。

「休む暇があったら仕事しろ」「休む暇がなかったら仕事しろ」と言われていた時代もありました。金の卵と言われ就職列車に揺られ東京へ、週48時間労働、その当時は何の抵抗もなく働き、けがをす

中小企業を問わず動き出し、これまでになく罰則規定を設け厳格に推し進めようとして

「働き方改革」が大企業、中小企業を問わず動き出し、これまでになく罰則規定を設け厳格に推し進めようとして

時代は変わって、今でも年次有給休暇は、「ない」「わからない」といった企業がまだあります。労働者をもののように扱い劣悪の環境で働かせている事業場があると耳にします。

PRIMO Co., Ltd. 株式会社プリモ
営業用食器・厨房設備・器具専門商社
Kitchen and Table Communication
青森店 青森洋食器
〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目3-8
TEL.017-739-9355 FAX.017-739-9359

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬
三協運輸株式会社
三協クリーンサービス株式会社
〒038-0023
青森市大字細越字栄山590-12
TEL 017-739-6426 FAX 017-739-1612

明日を創り 明日をひらく
教育・福祉施設・OAシステムトータルプランニング
教育設備品・理化学機器・視覚機器・保育用品
介護福祉機器・文具事務機器・OA機器
OEE 株式会社 大平教材社
〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目5番33号
TEL 017(762)3111(代) FAX 017(762)3130
E-mail: oodaira@infoaomori.ne.jp
http://www.infoaomori.ne.jp/oodaira/

**問屋町を明るく彩る
フラワーボックス設置**

組合では今年も問屋町大通りにフラワーボックスを100台設置した。オリジナルデザインの木製プランターに花苗を寄せ植えしたフラワーボックスの設置は、問屋町花いっぱいプロジェクトの一環として、今回で3年目。水やりなど花苗の管理は近隣企業の協力を得て実施され、秋までの間、問屋町を明るく彩り、道行く人々の目を惹きつける。

さらに、問屋町花いっぱいプロジェクトの新たな取り組みとして、組合員の自主的な景観美化活動を促進するため、フラワーボックスの無料配付を実施した。初回は、あらか



問屋町大通りに設置したフラワーボックス



フラワーボックス無料配付



花の植え方教室

じめ花苗が寄せ植えしたものを配付し、次年度からは、組合員が花苗を入れ替え継続して使用してもらう。50社、計100台配付したフラワーボックスは問屋町大通りのものとは異なるデザインで、組合員の敷地内に置かれ、問屋町の景観向上に寄与することが

期待される。また、6月5日(水)には問屋町花の植え方教室が昨年に引き続き開催され、組合員18名が参加した。当日は問屋町の景観整備のアドバイザーであり、フラワーボックスのデザイン・作成を担当した鈴木野波氏を講師として迎え、

プランターへの寄せ植えの仕方や日々の管理方法について学び、思い思いに寄せ植えしてフラワーボックスを完成させ持ち帰った。組合では今後、問屋町花いっぱいプロジェクトを推進し、景観美化向上を図る。

新支店長に聞く

今回は、今年4月に㈱商工組合中央金庫青森支店に赴任した、崎野支店長にお話を伺った。

同金庫は、昭和11年に政府と民間団体が共同で出資する、官半民の政府系金融機関として設立。協同組合等に所属する中小企業の金融の円滑化を目的として、民間の金融機関では対応しづらいことを補完する役割を担っている。



㈱商工組合中央金庫青森支店支店長 崎野 真次

経営計画「商工中金経営改革プログラム」に基づいて、これまで培ってきた中小企業専門金融機関としての実績・ノウハウや、国内外のネットワーク等、当金庫ならではの特性を活かした「経営支援総合金融サービス事業」を軸としたビジネスモデルの確立に向けて、役員一丸となつて取り組んでいます。

中小企業金融の円滑化と、中小企業の成長・発展に貢献するという原点に立ち返り、必要な改革を迅速に実施し、皆さまからの信頼回復に努めます」と意気込みを語った。

「赴任した翌日に自宅を出たら、4月なのに一面積雪があったこと」に、まず驚きました。私は鹿児島出身なのですが、青森の方々とお話しすると鹿児島という言葉とイントネーションがすごく似ていて、とても親しみを感じます。あとは何となく食べ物と水が美味しいです。以前、ホタテの加工場を見学した際に試食した際のホタテがとても美味しくビックリしました。今まで食べたホタテの中で一番美味しく感動しました」と話す。

問屋町の第一印象について聞くと、「問屋町のロゴマークで標示や景観が統一されているところが、とても良いと感じました。これほど近隣の街とけ込み一体

「国の制度融資「危機対応業務」を巡る不正事案につきまして、お客様には多大なるご迷惑をおかけいたしました。現在、当金庫では、この不正事案に繋がった業務運営体制を改め、2018年10月に発表した中期

「赴任した翌日に自宅を出たら、4月なのに一面積雪があったこと」

となつている団地は初めてです」と述べた。

趣味の話に及ぶと、「長男と次男が野球をやっております。次男は昨年まで小学生で少年野球をやっており、そのコーチは私を含め親が務めております。毎週土日は朝から夕方までバッチティングピッチャーやノックで汗をかいていました。今年から中学に上がり、コーチの務めはなくなりりましたが、長男と次男の野球観戦が一番の楽しみです。

また、先日、カーシエアのカードを作ってきたので、1年かけて青森を巡ってきたんです。今、気になっているのは「黒石のつゆ焼きそば」です。近いうちに是非食べに行きたいです」と笑顔で語った。(47歳)

編集後記

一面の「組合員跡地処理から団地内再整備へ」について附言します。21世紀に入つてこの方、当団地の最大事は「組合員跡地処理問題」でした。それが組合50周年から組合員跡地がマックスとなりました。しかし、それは跡地問題が静的に終了したのではなく、組合が動的に充足してきたということ。これをポジティブに「団地内再整備」と再定義したということ。▼転話題。今回も文化テーマで「大星神社と津軽北斗七星信仰」についてです。▼組合の氏神様である隣接の大星神社は、社伝では延暦十一年(792)に蝦夷鎮護の祈願所として創建されたそうです。▼この「津軽北斗七星信仰」とは、坂上田村麻呂が平定した津軽に、北斗七星に擬し七社を星の形に配し、星の威光により鬼神を封じたといふものです。▼津軽北斗七星七社とは①大星神社(旧横内妙見堂)②浪岡八幡宮③猿賀神社④熊野奥照神社(北斗七星の伝承が残った神社)⑤岩木神社⑥鹿島神社⑦乳井神社の七社です。▼北斗信仰は平安初期に、天台宗や真言宗で星供養として盛んとなり、陰陽師などにより民間に広まりました。▼中世には北斗七星中の「破軍星信仰」と結びつき、武士(千葉氏など)の間で大いに信仰を集め、日蓮宗でも妙見菩薩の星祭り(破軍星)が行われました。▼「破軍星の法」とは諸葛孔明の編出した秘法とされ「破軍星の方向に向かって戦いを挑めば必ず負け、破軍星を背にして戦えば必ず勝つ」と言うものです。▼津軽北斗七星で何と大星神社が、その「破軍星」になるのです。▼また「津軽北斗七星一日巡り」は、お仕事に大変ご利益があるそうです(藤本)



株式会社 技研

おかげ様で40周年

技研の社是である「技の術を研磨」をイメージし、磨けば光ると言われるダイヤをモチーフに設定。上半分を「未来・希望・成功」の3つの光、下半分を「実績・信頼・挑戦」の3つの道として表現しています。

- 本社 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3丁目3番15号
TEL 017-757-9980 FAX 017-757-9981
- 盛岡事務所 〒020-0837 岩手県盛岡市津志田町1丁目12番18号
TEL 019-658-9486 FAX 050-3424-3026
- 青森工場 〒039-2312 青森県上北郡六戸町大字下吉田字赤田15番地の1
TEL 0176-70-1088 FAX 0176-55-3909

青森銀行はおかげさまで創業140周年



未来からの
“ありがとう”の
ために



青森銀行 <https://www.a-bank.jp>